

元気いっぱい! 夢いっぱい!

菊池っ子だより

vol.145

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎ 0968 (25) 7231

泗水中学校

6月~ より良い学校生活を送るために



集会には、自分の人権宣言を書いたゼッケンを首にかけて参加。人権意識をしっかりと持ち、充実した学校生活を送ってほしいです

全校生徒が楽しく、より良い学校生活を送るために、毎年7月に人権集会を行っています。今年も6月から各クラスで人権学習を行い、どのようなクラスや学年にしたいかを話し合い、クラスの人権宣言を考えて、学年人権集会で共有。7月14日にオンラインで開催した全校集会で学年ごとに発表しました。

旭志中学校

7月1日~ 学びと成長! 1・2年が校外学習



①【職場体験】ついでんスターでは、商品のラベル貼りなどを行いました ②【集団宿泊教室】夜に実施したクラスミーティング

2年生が3日間の日程で職場体験を実施。雨の日が多かったですが、無事に実施することができました。協力いただいた15の事業者の皆さん、ありがとうございました。1年生は2日間、阿蘇で集団宿泊教室を実施。熊本地震震災ミュージアム「KIOKU」の見学や屋外調理などを行い、絆がさらに深まりました。

泗水西小学校

6月20日 泥だらけになって、楽しく学ぶ米作り



③田んぼでピーチフラッグ。泥だらけで楽しんでいました。児童たちにとって幅広い世代と触れ合うことができる特別な時間です

今年もJA菊池青壮年部や地域、PTAの皆さんの協力の下、「田植え・どろんこフェスティバル」を開催しました。昨年から県立大学の学生や菊池農業高校の生徒と一緒に実施しています。児童たちは、稲を植えるコツをそばで丁寧に教えてもらいながら、笑顔で泥の感触を楽しんでいました。

花房小学校

7月7日 秋の収穫が楽しみ! 田植え体験



④苗を一つ一つ丁寧に手植え ⑤田植え後は近くの川で泥を洗い流し、冷たい水に子どもたちの元気な笑顔が弾けていました

全校児童での田植えは雨で中止となりましたが、後日、代表して5年生が田植えを体験。生産者のご厚意で借りた田んぼに入り、泥に足を取られながらも、手植えをしていきました。児童からは「お米を作る大変さが分かった」といった声が聞かれ、生産者への感謝の気持ちを深める貴重な機会となりました。

泗水小学校

7月8日 地域の皆さんと一緒に植えたよ!



協力いただいた地域の皆さんやJAの皆さん、ありがとうございました。今後は、稲の生長を見守りながら学習を深めていきます

熱中症対策として用水路の水で体を冷やし、時間を短縮して実施。初めて田んぼに入る児童も多く、足元の感触に戸惑う姿も見られましたが、次第に慣れて「気持ちいい」と笑顔を見せながら、丁寧に苗を植えていました。米作りの大変さや食を支える人々の思いに触れ、学びの多い時間となりました。

市内3高校の魅力伝えます!

高校魅力化全力通信

vol.102



【問い合わせ先】
菊池高校
☎ 0968 (25) 3175



中央図書館では、本の配架やカウンターでの貸し出しや返却の処理などの業務を行いました

●2年生がインターンシップ
7月7日から9日までの3日間、2年生74人が市内外の事業所でインターンシップに取り組みました。事前のマナー講座では、働く上で欠かせない人間関係やビジネスマナー、仕事のルール・コツのポイントについて学習。あいさつや言葉遣い、電話の掛け方の基本も習得しました。生徒たちは、ものづくりや販売・接客、幼児教育、行政など、それぞれの進路希望に応じた職場で仕事を体験。実際に働く人の姿に触れ、仕事のやりがいや責任を知ることで、自分の将来について考える貴重な機会となりました。
生徒たちを温かく迎え、ご指導いただいた各事業所の皆さん、ありがとうございました。

働くことを知り、
将来を考える

●高校生が学びをサポート
7月22日、DXハイスchoolの取り組みの一環として、本校初となる小学生プログラミング教室を開催しました。近隣の小学校から6人の児童が参加し、本校生徒がアシスタントを務めました。
教室では、小型コンピュータの「Micro:bit」を使用。児童たちは、生徒たちに操作を教わりながら、文字を表示したり、音を鳴らしたりするプログラムを作成。最後には、プログラムで自動車を動かす制御にも挑戦しました。
自分が考えた通りにコンピュータや車が動く、児童たちからは笑顔と歓声が湧き起こりました。生徒にとっても、学んだことを人に伝える楽しさを実感する時間になりました。

小学生と本校生徒が
一緒にプログラミング!



生成AIを使用しながら作った動画の一コマ。現代社会で失われつつある「人と人のつながり」をテーマに、映像や音楽、ナレーションを組み合わせて、一つの物語を作り上げました

●仮想空間デザインコンテストで受賞
7月23日、崇城大学IoT・AIセンターで「第5回仮想空間デザインコンテスト2026」が開催されました。
本校からは、地域探究コースの2年生が、総合的な探究の時間に、生成AIを活用しながら制作した3DCG動画「もったいないトイレ」を出品しました。作品の個性やストーリー性、映像・音響の完成度などが評価され、「ベネッセコーポレーション賞」を受賞。デジタル技術を活用して、自分たちの思いを表現した学びの成果が実を結びました。

生成AIで描いた
未来の物語



●かわびらきで子どもたちと交流
7月25日、迫間川つなぎ石公園で開催された「2026かわびらき」に、地域探究コースの2年生とまちづくり部の生徒が参加しました。
昨年度も好評だった水風船ヨーヨー釣りや竹製の水鉄砲に加え、今年は新たに竹いかだを制作。生徒たちは、子どもたちが安全に楽しめるよう声を掛けたり、遊び方を説明したりしながら、一緒に川遊びを楽しみました。
青空の下、子どもたちの元気な声がかき合い、川が流れていました。地域の自然を生かした活動を通して、川の魅力や人と交流する喜びを実感。充実した一日となりました。

手作りの竹いかだで
川遊び

